

「地域づくり推進ビジョン」及び推進方策について

1. 平成20年度より、国の北海道総合開発計画及び北海道の北海道総合計画の推進にあたり、地域づくり連携会議（以下「連携会議」という。）において「地域づくり推進ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を作成し、毎年度進捗を共有してきました。

第9期北海道総合開発計画（令和6年3月閣議決定）及び新しい北海道総合計画（令和6年7月策定）の推進にあっても、連携会議においてビジョンを作成・共有し、推進します。

2. ビジョンでは、具体的な取組・施策を地域重点プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）としてとりまとめます。

従前は、「北海道開発局が主体となり実施するプロジェクト」と「北海道が主体となり実施するプロジェクト」とをそれぞれ主体別に作成して列挙していましたが、今回からは小樽開発建設部と後志総合振興局と一緒にプロジェクトを作成し、小樽開発建設部、後志総合振興局、連携会議が一丸となって推進します。

具体的には、政策展開方針の後志地域の3つのプロジェクトをそのままビジョンのプロジェクトとして掲げ、後志総合振興局だけでなく、小樽開発建設部も含め連携会議が一丸となって推進します。

- ①農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト
- ②地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト
- ③多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト
- ①～③の付図として「後志地域3プロジェクトを支えるインフラ整備進捗図」

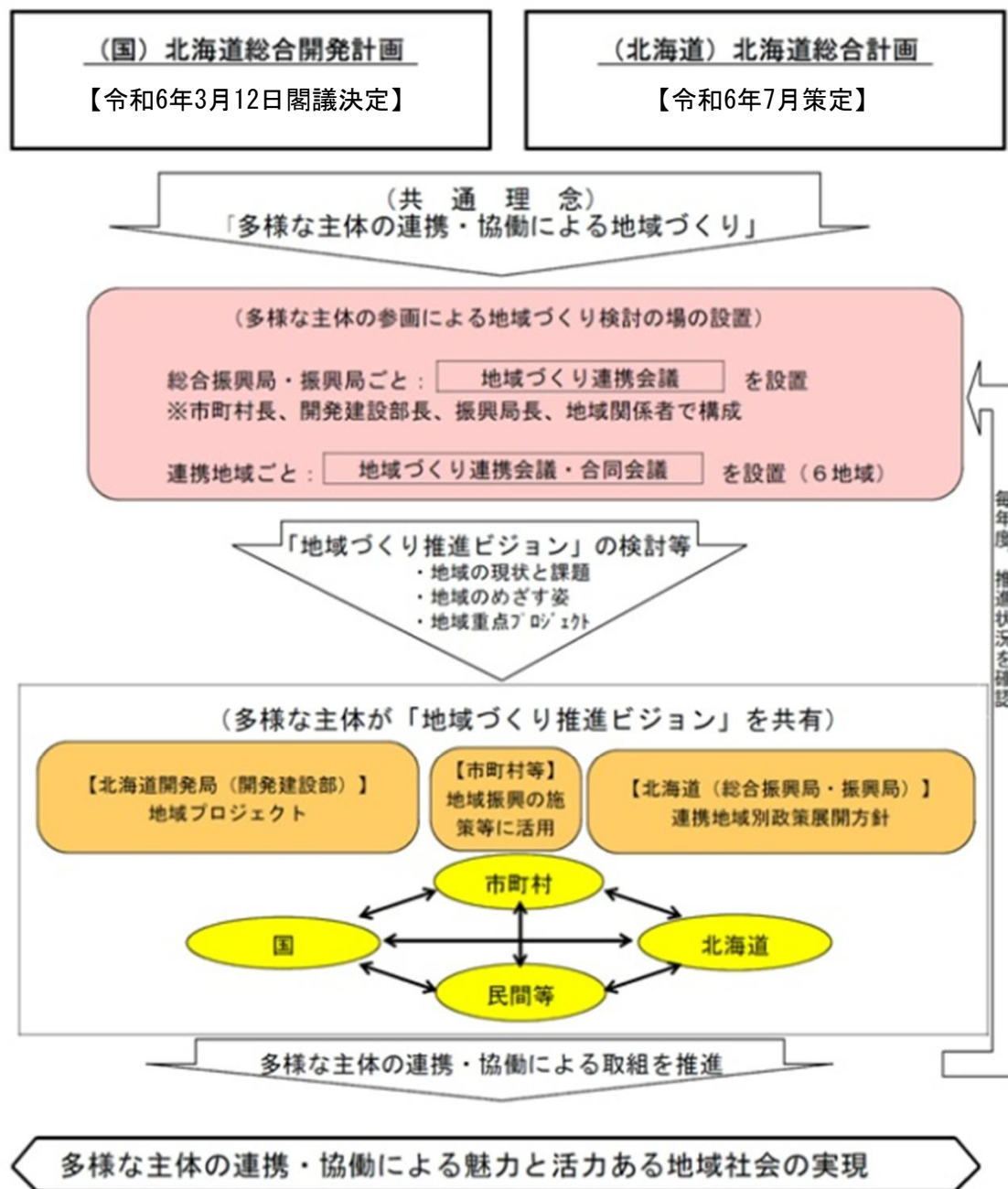
3. プロジェクトを実現するためには、プロジェクトを構成（あるいは関連）する個々の施策・取組を具体化し実行に移すことが重要です。関係する民間団体や事業者等も参加する官民共創で施策・取組を具体化し実行していきます。

☆施策・取組の中には、官民共創チームを設置して取り組む方が効果的なものもあると考えられます。

官民共創チームは、既存組織体制を活用・拡充したり、新たに官民共創チームを設置（例えば、連携会議の規約（第4条5項）にあるテーマ別会議の設置など）することなどが考えられます。

意見交換では、プロジェクトの推進方策（官民共創チームで臨むべき施策・取組など）についてもご意見をください。

二 「地域づくり推進ビジョン」とりまとめフロー（イメージ）



農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

【推進エリア】後志地域

目的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、ワインをはじめ豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、農林水産物の高付加価値化やブランド化を促進する。

施策

■ 高品質で収益性の高い農産物の栽培及びICTを活用した省力化技術の普及

- 高収益作物の導入
- ICTを活用した省力化技術の普及 など

■ 道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かしたワイナリーの集積とワイン製造におけるカーボンニュートラルの取組の普及促進

- 栽培・製造・マーケティング等の技術の向上
- ワイン製造におけるカーボンニュートラルに係る取組内容の調査・研究及び各ワイナリーへの普及促進 など

■ 水産資源の持続的利用や新たな増養殖の推進

- トラウトサーモンなど新たな養殖の推進
- 水産物のブランド化など付加価値向上に向けた取組の推進
- コウナゴなど適切な資源管理の推進
- 藻場保全などブルーカーボンに関する取組の推進 など

■ 全道屈指の強度を持つ「ようていカラマツ」の利用促進

- 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
- 地域の特性に応じた森林づくりの推進
- 地材地消の推進

■ 多様な農林水産業の担い手の育成・確保

- 担い手の育成・確保

■ 多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大

- 特産品の発掘・磨き上げ
- 安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上
- 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
- 地元食材のレストランでの利用促進など産消協働の推進
- 官民協働による国内外でのプロモーションの展開

- 農林水産活動団体の支援（わが村は美しく－北海道との連携）
- 海業、マリンビジョンの取組推進

地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト

【推進エリア】後志地域

目的

自然景観や地域の文化の組み合わせによるアドベンチャートラベルや、ワインをはじめとする多様な食資源を活かしたツーリズムの推進など、地域ならではの優れた地域資源を十分活用し、旅行者の滞在期間の延長や観光の通年化、広域化を図り、持続可能な観光地域づくりを推進する。

施策

■ 後志地域の自然景観や食資源を活用した広域観光の推進

- 農業・漁業体験など一次産業や食品加工業を始めとする二次産業と観光事業者との連携による「食」を活かした魅力ある観光地づくり
- 自然景観や食などの地域資源を活用した広域観光の推進

■ ウィンタースポーツをはじめ、サイクルツーリズム、ラフティングなどのアクティビティーや地域の文化等の組み合わせによるアドベンチャートラベルの推進

- インバウンド受入体制の充実
- 官民協働による国内外でのプロモーション展開 など

■ 地域の観光ビジネスで活躍できる国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成

- インバウンド受入体制の充実
- 商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成

■ 地域の稼ぐ力を引き出す管内のDMOとの連携

- 北後志地域やニセコ地域を核とした周辺地域への広域化や観光消費の拡大
- DMOとの連携によるプロモーションや情報発信

■ 新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進

- 宿泊地（ハブ）と周辺の地域（サテライト）が連携し、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
- シーニックバイウェイ北海道の推進
- 地域交通ネットワークの充実・確保
- 広域観光の推進
- インバウンド受入体制の充実
- 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

■ みなとオアシスの取組推進

多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト

【推進エリア】後志地域

目的

労働者の通年雇用化や若年者への地元企業の魅力発信等による人材の流出抑制、移住・定住施策と一体となった人材誘致、グローバル人材の育成や多文化共生の推進、地域公共交通の利用促進や運転手確保などによる地域交通・物流ネットワークの維持、再生エネルギーの活用や森林づくり、地域住民等のカーボンニュートラルに対する更なる意識醸成などを通じた環境と調和した地域づくり及び生産空間に住み続けられる環境づくりを推進する。

施策

■ 冬季に偏在する労働者の**通年雇用化**、学生と地元企業のマッチング支援や学生に対する情報提供を通じた**地元定着の促進**

- 無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
- 若年者に向けた地元企業説明会等の開催

■ **市町村と連携し、移住定住施策と一体となった人材誘致**

- 移住フェアなど後志をPRする場への出展等
- SNS等による情報発信

■ 地域住民等の**カーボンニュートラルに対する意識醸成**

- 地域住民等を対象とした出前講座の実施をはじめとした啓発活動

■ 国際感覚やコミュニケーション能力を備えた**グローバル人材の育成、多文化共生の推進**

- 多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や外国語実践機会等の創出
- ShiriBeshi留学などを通じたグローバル人材の育成
- 市町村と連携した多文化共生の場の提供

■ **地域公共交通ネットワークの維持支援**

- 市町村と連携したバスの運転手確保の取組支援
- 公共交通利用促進のための広報活動

付図：(仮称)後志地域3プロジェクトを支えるインフラ整備進捗図

